


Harley X500 ('23~)専用

H4 6000k DC12V 30w

警告

- 取付けは取扱説明書に沿って正しく取付けてください。取付け方法を間違えると火災・故障などの原因となります。
- 取付け前に必ずバッテリーのマイナス側のターミナルコードを外して、キーOFFである事を確認してください。
- LEDチップには触れたり汚さないでください。汚れの付着は熱溜まりによるLEDチップの焦げの原因となります。
- 本製品は精密機器ですので取扱いには充分ご注意ください。落としたり、配線を無理に引っ張ったりしないでください。誤った取扱いは故障の原因となったり、怪我や火傷、人命にかかわる重大な事故を引き起こす危険性があります。またスパークや絶縁不良、ショートにより本製品の故障や車両火災の原因となりますので充分ご注意ください。
- **本製品の分解・改造は絶対に行わないでください。**分解・改造した製品の保証は受けられません。
- 点灯中のヘッドライト内のLED発光を直視しないでください。視覚障害の原因となります。
- 点灯中や消灯直後にレンズに水をかけないでください。急な温度変化でレンズやLEDバルブの破損の原因となります。また、LEDバルブ本体と後方のヒートシンクや、コントローラーユニットは高温になりますので触らないでください。

注意

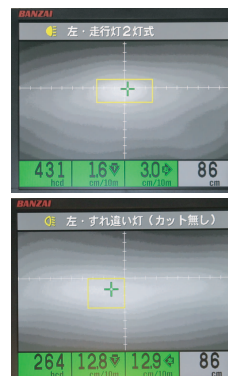
- 本製品は、12v直流(DC)マイナスコモン専用です。必ずDC12vを電源とした配線を厳守してください。
※小排気量車に多い交流(AC)点灯式ヘッドライト車両には対応致しませんので絶対に取付けしないでください。
※マイナスコモンとはヘッドライト配線のマイナス側がHiビーム側とLoビーム側で共通しているタイプを指します。
プラスコモンヘッドライトの車両には対応しておりません。
- 本製品はハーレーX500(23-)専用となっております。適合車種以外への流用は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 紙や布で覆ったり燃えやすい物の近くで点灯させないでください。火災や異常加熱を引き起こす恐れがあります。また、可燃スプレー、シンナー等燃えやすい物や引火する危険のある物の近くでは点灯しないでください。
- 点灯した状態でヘッドライトへの取付けは行わないでください。故障や火傷の原因となります。
- 本製品は生活防水ですが完全防水ではありません。コントローラーユニットから出ているカプラーはビニールテープや自己融着テープなどを巻くなど防水処理をしてください。必要以上に水で濡らす事は避けてください。
- 高圧洗浄機による洗車を行う際は本製品に直接高圧洗浄が当たらないようにしてください。
- LEDバルブやコントローラーユニットを落としたり、強い衝撃を与えるなどしないでください。破損や性能の低下、寿命を縮めるだけでなく、ケガの原因にもなります。
- LEDバルブの組み付けには、この  **グリス** マークで示した箇所に必ず付属の導熱用グリスを塗ってください。
- 電動ファンを覆い隠さないでください。ファン後方には吸い出した空気が流れる十分なスペースを確保してください。
- ネジ部の緩み防止にネジロックをご使用ください。また定期的な増締めを行ってください。
- 取付けは専門知識と技術が必要です。熟練したメカニックのいる指定整備工場などで行ってください。
- ご使用前に必ず光軸の調整を行ってください。対向車の視界の妨げになり、交通事故を誘発する恐れがあります。詳しくは道路運送車両の保安基準を参照ください。
- 本製品の取付けをした事により車両製造メーカーの保証が受けられない場合があります。
- 本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、当社で一切責任を負いかねます。また、修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 取付け作業中または使用中に少しでも異常を感じたら、ご購入の販売店または当社サービス課までお問い合わせください。

車検適合の記載について

- プロテック製LEDバルブ全般における車検対応品として示す内容は、当社指定のヘッドライトに装着しHiビーム点灯状態でヘッドライト検査を行った際の最高光度と色温度についてです。
※プロテックにて適合の取れていない車両に取り付けた場合または、当社指定のヘッドライト以外に取り付けた場合、車検合格基準に満たない事があります。
- 製品の取付け後は必ず、LEDに対応した検査機にて光軸調整を行ってください。
- 光軸調整不良や経年劣化によるライトレンズの汚れや曇り、擦り傷、灯体内リフレクター部メッキの剥がれ、指定以外のヘッドライトに使用した事による車検落ち、整備不良について当社は一切の責任は負いません。

製品の主な特長・仕様

- **車検対応!**
本製品はハイビーム検査による車検適合基準の光度15,000カンデラに対して弊社測定値43,100カンデラです。ロービーム測定は26,400カンデラでこちらも車検基準適合です。
- **長寿命! 信頼のCREE社製LED採用!**
発光体には耐久性、信頼性の高いCREE社製XLamp XP-L LEDsを使用しています。
- **省電力設計!**
消費電力は30wですので、ノーマルヘッドライトの総消費電力37.2wより省電力です。
- **Hi/Lo切り替え!**
Hiビーム、Loビームにそれぞれ3個のLEDを配置してHi/Lo切り替えが可能です。
- **いきなり明るい素早い点灯!**
HIDと違い電源投入直後からフルパワー点灯します。
またHIDのように徐々に発光色が変化する事はありません。
- **防水電動ファン採用! 安心の冷却システムで常に明るい!**
LEDで発生する熱をロスなくヒートシンクに伝えて防水電動ファンで冷却する事で長時間連続点灯しても熱の影響を受ける事無く30wのフルパワーで明るい光が持続します。
- **入力電圧変化による光量変化がほとんどない!**
本製品は、入力電圧が1v下がっても光度がほとんど落ちない設計となっております。当社測定において入力電圧10v時の高度は12v入力時と比べて2.5%ダウンとなります。

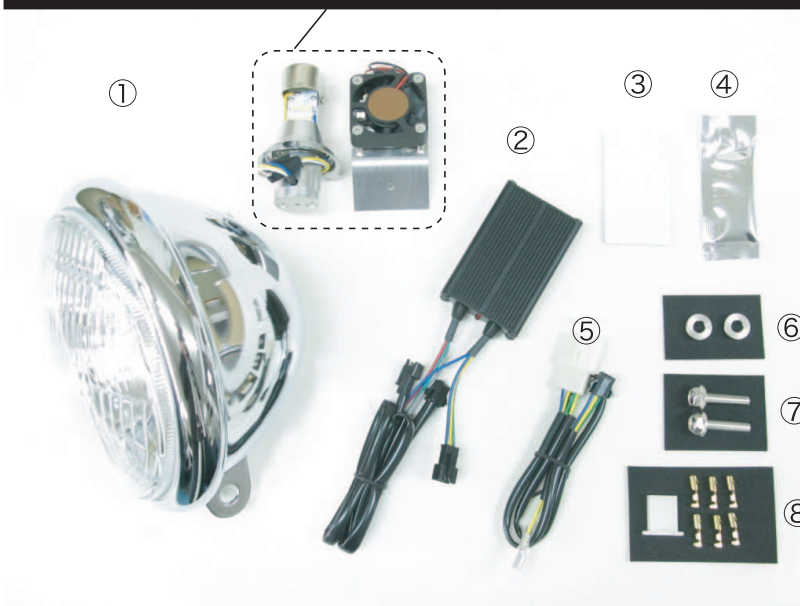


仕様

- 定格電圧…DC12V
- 消費電力…30W
- 色温度…6000k
- 使用LED…CREE社製 XLamp XP-L LEDs
- 発光部のメーカー型式…LB4
- …3000k

構成部品

※点線の中のものLEDバルブ、電動ファンはヘッドライトに組み込まれた状態となっております。



- ① ベーツタイプヘッドライト × 1
(LEDバルブ&電動ファン組み込み済)
- ② コントローラーユニット × 1
- ③ 両面テープ × 1
- ④ 導熱用グリス × 1
- ⑤ ヘッドライト接続ハーネス × 1
- ⑥ スペーサーカラー × 2
- ⑦ M6 x 25 ボルト × 2
- ⑧ 110型3Pカプラー(オス、メス) × 各1
110型端子(オス、メス) × 各6
- ギボシ&スリーブ(オス、メス) × 各1
- 結束バンド 300mm × 2
- 車両検査協会成績書 × 1

取付け手順 ①～⑬

※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

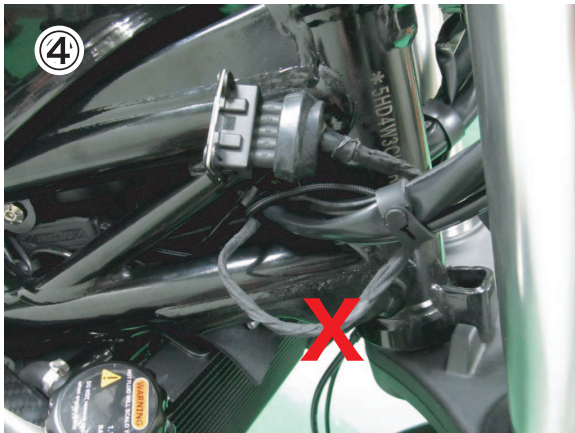
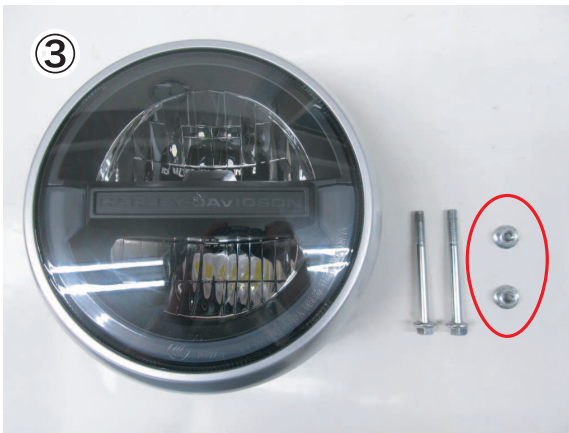
①○で囲ったヘッドライトハーネスカプラーを外します。

②○で囲った部分のボルト2本を外します。



③ ヘッドライトを取り外します。
※取り外したナットは再度使用します。

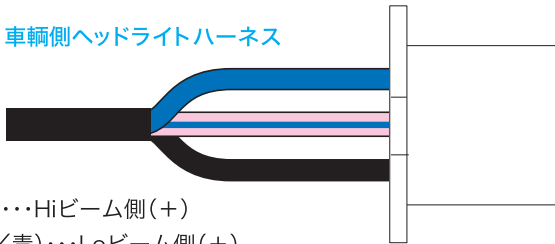
④ ①で外したヘッドライトハーネスをXで示した部分で切断します。



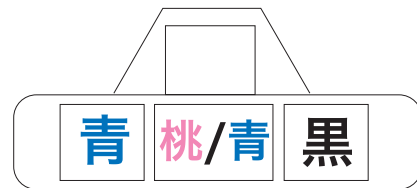
⑤ ④で切断した車両側ヘッドライトハーネスに部品表⑧の110型端子を圧着しコネクタを取り付けます。
※端子の圧着は必ず専用の電工ペンチを使用してください。(電工ペンチの圧着する部分は1.25です。)

⑤

車両側ヘッドライトハーネス



- (青)・・・Hiビーム側(+)
- (桃/青)・・・Loビーム側(+)
- (黒)・・・アース(-)



※カプラーの配線が入る側から見た位置関係

(赤/白)・・・ポジションランプ(+)
は使用しません。ショートしない様に絶縁テープで処理してください。

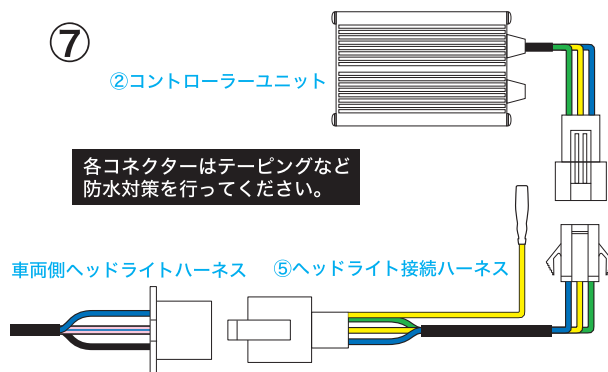
- ⑥ コントローラーユニット(部品表②)を車体右側下の画像の○で示したフレームに取り付けます。



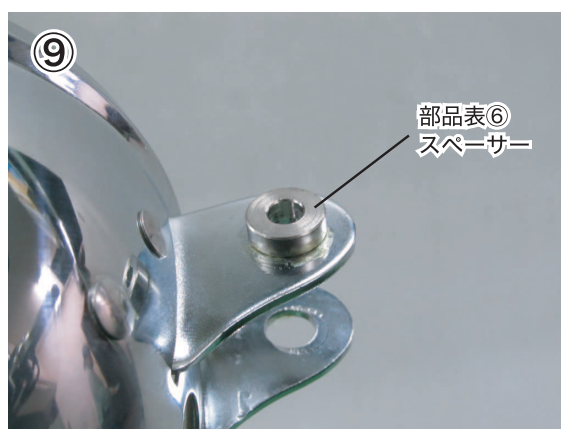
- ⑧ コントローラーユニットの白・緑・灰コードと赤・青コードを車体前方に出します。



- ⑦ ⑤で取り付けした車両側ヘッドライトハーネスの3Pコネクターとヘッドライト接続ハーネス(部品表⑤)を接続し、コントローラーユニットの緑・黄・青コードとヘッドライト接続ハーネス(部品表⑤)を接続します。



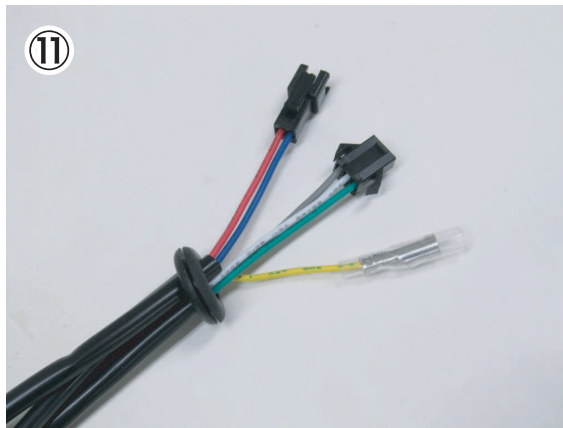
- ⑨ ヘッドライト下部の穴の開いたステー部分の左右に部品表⑥のスペーサーを接着します。



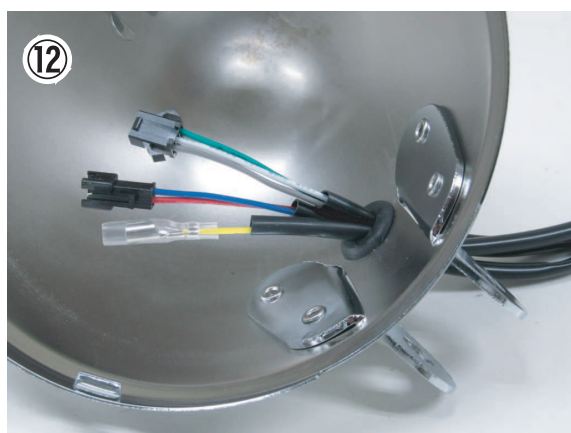
⑩ ヘッドライトから配線を通す穴のゴムブッシュを取り外します。



⑪ コントローラーユニットの緑・白・灰と赤・青コードと黄コードを⑩で取り外したゴムブッシュに通します。



⑫ コントローラーユニットの緑・白・灰と赤・青コード、ヘッドライト接続ハーネスの黄コードを穴から通しゴムブッシュを取り付けます。

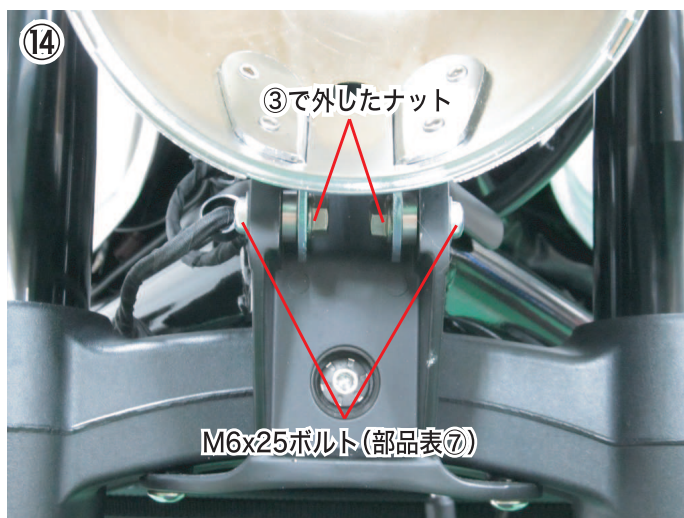


⑬ 引き込んだ黄コードとヘッドライトケース内のハイビームインジケータの黄コードを接続します。

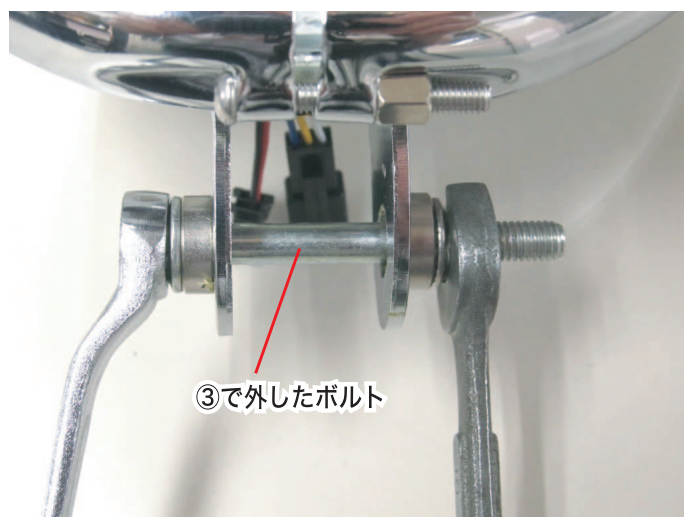


取付け手順 ⑭～⑯

⑭ ヘッドライト本体を車体側のヘッドライトステーの下側のボルト穴に取り付けます。

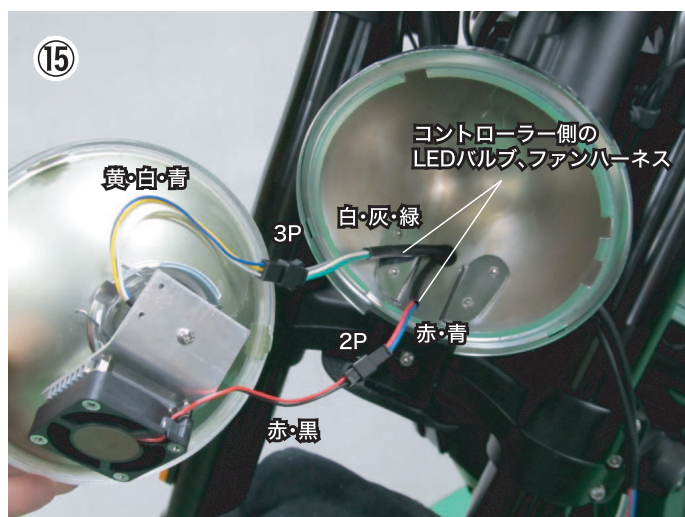


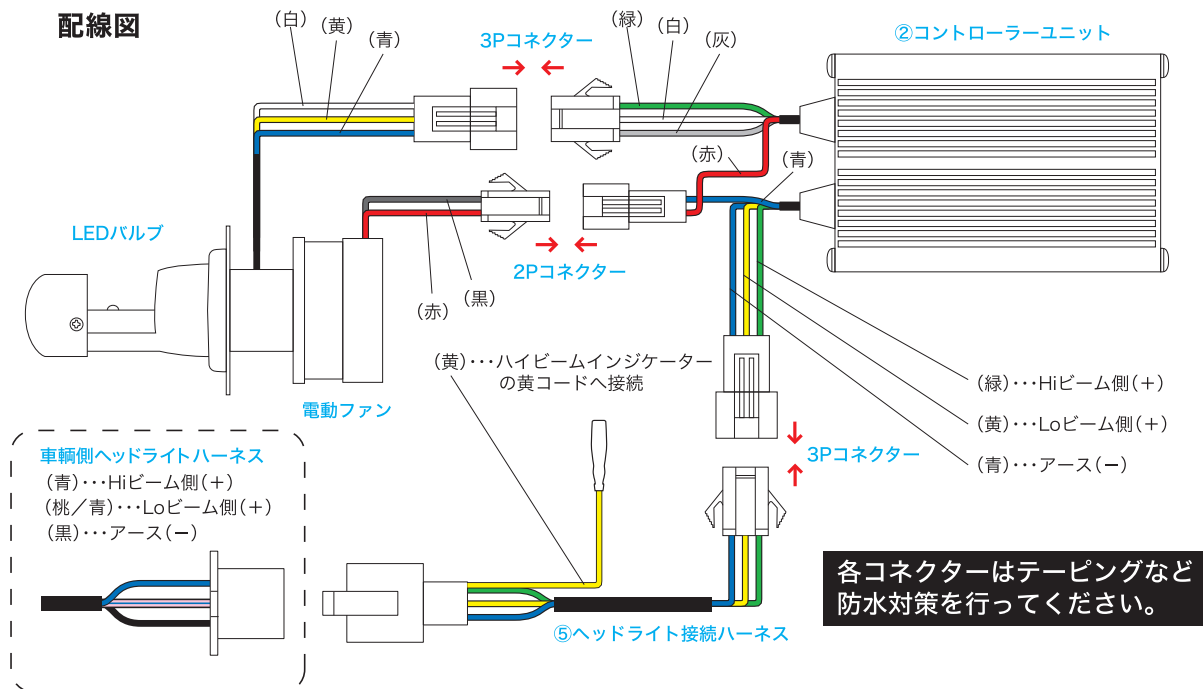
※ ヘッドライトステーに入り難い場合は、③で外したノーマルボルトとナットを使って下の画像の様に締め込んで幅を縮めてください。



⑯ LEDバルブのコード(3Pカプラー)と電動ファンのコード(2Pカプラー)をコントローラーユニットのコードと接続します。

※LEDバルブと電動ファンは、出荷時の状態でヘッドライトレンズ側に予め組み込まれております。





※配線は結束バンドなどで確実に固定し、ハンドルを左右に切った時にコード類が引っ張られたり、たるみすぎない様配線してください。

⑩ ヘッドライトレンズをヘッドライトケースに取り付け、リムを取り付けます。

⑩



光軸調整について

上下方向への光軸調整はヘッドライト本体の取り付けボルト、ナットを緩めて、純正ヘッドライト同様にヘッドライト本体を上向き、下向きに動かして行います。

※光軸が決まったら取り付けボルト、ナットを締め付けてヘッドライト本体が動かない様に固定します。
また、定期的にボルト、ナットの緩みが無いかをご確認頂き、増し締めなど行ってください。

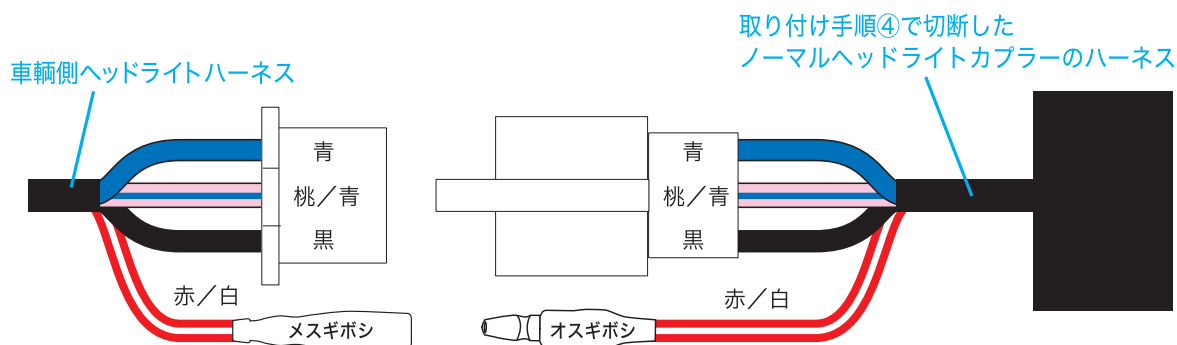


取り付け後はLED対応のヘッドライトテスターにて光軸の調整を行ってください。
当社にてBANZAI製ヘッドライトテスターを使用して光軸の測定を行い車検基準合格である事を確認しております。
本製品はハイビーム測定431hcd、ロービーム測定264hcdの最高光度がございます。



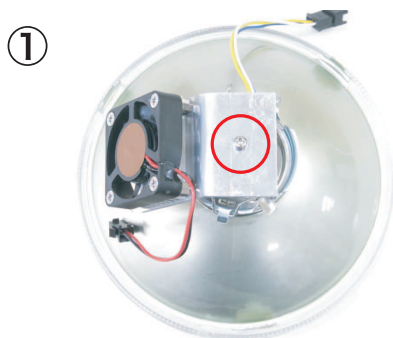
ノーマルヘッドライトへの戻しについて

- ① 取り付け手順④で切断したノーマルヘッドライトカプラーハーネスに110型オス端子と3Pカプラーを取り付けます。
※同じ色のコード同士が接続される様にしてください。
- ② ヘッドライトハーネスの車両側とヘッドライト側の赤/白コードにギボシを取り付けます。
- ③ 3Pカプラー、ギボシをそれぞれ接続し、ノーマルヘッドライトに戻します。



LEDバルブの取り外し方

- ① M3x8ビスとスプリングワッシャーを外すとLEDバルブからファンユニットが取り外せます。
- ② ファンユニット取り付けの際はLEDバルブ後部に導熱グリス(部品表④)を塗ります。



※再度取り付けの際はファンユニットの取り付け位置は画像と同じ9時の方向になります。
その際、ファンユニットのステーとLEDバルブ本体が密着する様にM3x8ビスを締め込んでください。